

1. 内外政

- ・13日、欧州議会は、モルドバ・EU連合協定を批准。シュルツ欧州議会議長は、コルマン議長との会談時に、同批准は欧州議会によるモルドバの欧州への道の強い支持である旨発言。14日、カラーシン露外務次官は、同批准を受け、ロシア・モルドバ間の貿易・経済関係は見直されねばならない旨発言。
- ・13日、ボディシュチャヌ青年・スポーツ相は、自由民主党に合流する旨発言(同大臣は、6日に自由改革党を離党する旨発言していた)。
- ・14日、ギンプ自由党党首は、旧社会主義国のうち、EU加盟の前にNATO加盟をしなかった国はないとし、EU加盟に向け、モルドバも憲法における中立主義を破棄し、NATO加盟

を目指すべき旨発言。

2. 経済

- ・10日、EUはモルドバ財政改革のための予算3,710万ユーロを承認。3,300万ユーロは財政支援、410万ユーロは技術支援に充てられる予定。
- ・12日、米国はモルドバに対し、経済成長促進のための支援を6,940億ドルに増加させる旨発表。

※本週報ではモルドバの首都名「キシニョフ」(ロシア語読み)を暫定的に「キシナウ」(モルドバ語読み)と表記しています。
(了)